

対象校No. 619

注4

学校コード F123310106657

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

日本福祉大学 教育・心理学部 学校教育学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人 日本福祉大学
令和7年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

教育・心理学部

<学校教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教育研究実施組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本福祉大学

(2) 大学名

日本福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒470-3295

愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	マルヤマ サトル 丸山 悟 (平成25年4月)		
学長	ハラダ マサキ 原田 正樹 (令和5年4月)		
学部長	エムラ カズヒコ 江村 和彦 (令和5年4月)		
学科長等	アカイシ ノリアキ 赤石 憲昭 (令和6年4月)	フジイ ヒロユキ 藤井 啓之 (令和7年4月)	任期満了に伴う変更(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育・心理学部 学校教育学科 学士（学校教育）	教育学・保育 学関係	4 年	95 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	380 人	-	基礎となる学部 教育・心理学部子ども発達学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につ いて	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	95 () []	人 () []	人 () []	人 () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.61倍	()								
志願者数	() []	235 () []	() []	216 () []	() []											
受験者数	() []	232 () []	() []	212 () []	() []											
合格者数	() []	191 () []	() []	173 () []	() []											
B 入学者数	() []	66 () []	() []	53 () []	() []											
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.69	-	0.55	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	66	-	53	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	63	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	66	-	116	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	66 人	3 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	0 人	0 人	
令和7年度	116 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(1名)、就職(1人)、復学手続きなし(1名)
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」のように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{3}{69} = \boxed{4.34} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教科研究	理科研究	2後			2	1						
	生活科研究	2後			2							1
	家庭科研究	2後			2							1
	外国語研究	2後			2							1
	家族社会学	1後			2	1						
	日本史概論	2前	○		2		1					
	外国史概論	2前	○		2							1
	地理学概論	2前	○		2		1					
	法学概論	2後	○		2	1						
	政治学概論	2後	○		2	2						1
	社会学概論	2前	○		2	2	1					
	経済学概論	2後	○		2	2						1
	哲学概論	2前	○		2	2	1					
	日本史特講	3後			2	2	1					
	近現代史	3後			2	2						1
	自然地理学	3後			2	2	1					
	人文地理学	3後			2	2	1					
	政治学特講	3前			2	2	1					1
	法学特講	3後			2	2	1					
	社会学特講	3後			2	2	1					
経済学特講	3前			2	2						2	
哲学特講	3後			2	2	1						
倫理学概論	3前	○		2	2	1						
宗教学概論	3前	○		2	2						1	
倫理学特講(死生学)	4前			2	2	1						
福祉系	社会福祉論	1前			2	1						
	子ども家庭福祉論Ⅰ	2前			2							1
	子ども家庭福祉論Ⅱ	2後			2							2
	学校福祉論	2後	○		2	1						
	教育福祉論	3後			2							1
	司法福祉論	4前			2							1
	学童保育論	4後			2	1						2
演習系	学校教育演習	2後	○		3	3						
	学校教育学専門演習Ⅰ	3通	○	4		6	4	1				
	学校教育学専門演習Ⅱ	4通	○	4		7	4	1				
教育実践系	国語科教育法	2後	○		2							1
	社会科教育法	2後	○		2	1						
	図画工作教育法	2後	○		2	1						
	音楽科教育法	2後	○		2	2		1				
	体育科教育法	2後	○		2	1						
	算数科教育法	3前	○		2	1						
	理科教育法	3前	○		2	1						
	生活科教育法	3前	○		2	2						1
	家庭科教育法	3前	○		2	2						2
	外国語教育法	3前	○		2	2						1
	総合的な学習の時間の指導法	3前	○		2	2						1
	中等社会科教育法A	2後	○		2	2						1
	中等社会科教育法B	3前	○		2	2	1					
	中等社会科教育法C	3前	○		2	2						1
	中等社会科教育法D	3後	○		2	1						
	教職インターンシップⅠ	2通	○		2	1						1
	教育実習Ⅰ(小・事前事後)	3前	○		1	2	2	1				
	教育実習Ⅱ(小)	3後	○		4	1						
	教育実習Ⅰ(中・事前事後)	3・4後	○		1	1						
教育実習Ⅱ(中)	4前	○		4	1	1						
教職インターンシップⅡ	4後			2	1	1						
教職実践演習(小中)	4後	○		2	3	1						
特別支援教育	特別支援教育論	2前	○		2	1						
	知的障害児教育論	2後	○		2	1						1
	知的障害児指導法	3前	○		2	1						
	肢体不自由児教育論	3前	○		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 (助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教科研究	理科研究	2後			2	1						
	生活科研究	2後			2							1
	家庭科研究	2後			2							1
	外国語研究	2後			2							1
	家族社会学	1後			2	1						
	日本史概論	2前	○		2		1					
	外国史概論	2前	○		2							1
	地理学概論	2前	○		2		1					
	法学概論	2後	○		2	1						
	政治学概論	2後	○		2	2						1
	社会学概論	2前	○		2	2	1					
	経済学概論	2後	○		2	2						1
	哲学概論	2前	○		2	2	1					1
	日本史特講	3後			2	2	1					
	近現代史	3後			2	2						1
	自然地理学	3後			2	2	1					
	人文地理学	3後			2	2	1					
	政治学特講	3前			2	2	1					1
	法学特講	3後			2	2	1					
	社会学特講	3後			2	2	1					
経済学特講	3前			2	2						2	
哲学特講	3後			2	2	1						
倫理学概論	3前	○		2	2	1						
宗教学概論	3前	○		2	2						1	
倫理学特講(死生学)	4前			2	2	1						
福祉系	社会福祉論	1前			2	1						
	子ども家庭福祉論Ⅰ	2前			2							1
	子ども家庭福祉論Ⅱ	2後			2							1
	学校福祉論	2後	○		2	1						
	教育福祉論	3後			2							1
	司法福祉論	4前			2							1
	学童保育論	4後			2	1						2
演習系	学校教育演習	2後	○		3	3	1	1	1	1		
	学校教育学専門演習Ⅰ	3通	○	4		6	4	3	1			
	学校教育学専門演習Ⅱ	4通	○	4		7	4	3	1			
教育実践系	国語科教育法	2後	○		2							1
	社会科教育法	2後	○		2	1		1				
	図画工作教育法	2後	○		2	1						
	音楽科教育法	2後	○		2	2		1				
	体育科教育法	2後	○		2	1						
	算数科教育法	3前	○		2	1						
	理科教育法	3前	○		2	1						
	生活科教育法	3前	○		2	2						1
	家庭科教育法	3前	○		2	2						2
	外国語教育法	3前	○		2	2						1
	総合的な学習の時間の指導法	3前	○		2	2						1
	中等社会科教育法A	2後	○		2	2						1
	中等社会科教育法B	3前	○		2	2	1					
	中等社会科教育法C	3前	○		2	2						1
	中等社会科教育法D	3後	○		2	1						
	教職インターンシップⅠ	2通	○		2	1				1		
	教育実習Ⅰ(小・事前事後)	3前	○		1	2	2	1				
	教育実習Ⅱ(小)	3後	○		4	1						
	教育実習Ⅰ(中・事前事後)	3・4後	○		1	1						
教育実習Ⅱ(中)	4前	○		4	1	1						
教職インターンシップⅡ	4後			2	2	2						
教職実践演習(小中)	4後	○		2	3	1						
特別支援教育	特別支援教育論	2前	○		2	1						
	知的障害児教育論	2後	○		2	1						1
	知的障害児指導法	3前	○		2	1						
	肢体不自由児教育論	3前	○		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					(助手を除く) 基幹教員以外 の教員数	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	特別支援教育	肢体不自由児指導法	3後	○	2		1						2
		特別支援教育課程論	2後	○	2			1					
		聴覚障害児指導法	3後		2								
		重度重複障害児教育論	3前		2		1						
		重度重複障害児指導法	3後		2		1						
		発達障害児指導法	2後		2								
		障害児教育特論	4前		2			1					
		障害児教育実習Ⅰ(事前事後)	4通	○	1			1					
	障害理解	障害児教育実習Ⅱ	4通	○	2			1					1
		知的障害児の心理	1後	○	2		1						
		知的障害児の生理と病理	2前	○	2		1						
		肢体不自由児の心理	2前	○	2								
		肢体不自由児の生理と病理	2後	○	2		1						
		視覚・聴覚・病弱児論	2後	○	2								
自由科目	発達障害児論	2前	○	2								3	
	聴覚障害児の心理・生理・病理	3前		2									
	病弱児の心理・生理・病理	3前		2		1							
	動作法	3前		2									
	障害児アセスメント演習	4前		2		1							
	小計(101科目)	-		8	200	0	13	4	1	0	0		39
自由科目	ビジネススキル	2前				2						1	
	インターンシップⅢ	2通				1							
	インターンシップⅣ	2通				2							
小計(3科目)	-		0	0	5	0	0	0	0	0	1		
合計(148科目)	-		16	268	5	13	4	1	0	0	86		
卒業要件及び履修方法													
4年以上在学し、総合基礎科目から28単位以上、専門科目から66単位以上を習得し、計124単位以上を習得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					(助手を除く) 基幹教員以外 の教員数	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	特別支援教育	肢体不自由児指導法	3後	○	2		1						3
		特別支援教育課程論	2後	○	2			1					
		聴覚障害児指導法	3後		2								
		重度重複障害児教育論	3前		2		1						
		重度重複障害児指導法(補論)	3後		2		1						
		発達障害児指導法	2後		2								
		障害児教育特論	4前		2			1					
		障害児教育実習Ⅰ(事前事後)	4通	○	1			1					
	障害理解	障害児教育実習Ⅱ	4通	○	2			1					1
		知的障害児の心理	1後	○	2		1						
		知的障害児の生理と病理	2前	○	2		1						
		肢体不自由児の心理	2前	○	2		1						
		肢体不自由児の生理と病理	2後	○	2		1						
		視覚・聴覚・病弱児論	2後	○	2		1						
自由科目	発達障害児論	2前	○	2								4	
	聴覚障害児の心理・生理・病理	3前		2									
	病弱児の心理・生理・病理	3前		2		1							
	動作法	3前		2									
	障害児アセスメント演習	4前		2		1							
	小計(101科目)	-		8	200	0	12	6	2	1	0		16
自由科目	ビジネススキル	2前				2						1	
	インターンシップⅢ	2通				1							
	インターンシップⅣ	2通				2							
小計(3科目)	-		0	0	5	0	0	0	0	0	1		
合計(148科目)	-		16	268	5	14	6	2	1	0	44		
卒業要件及び履修方法													
4年以上在学し、総合基礎科目から28単位以上、専門科目から66単位以上を習得し、計124単位以上を習得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))													

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員数 (<small>○</small> 教員 <small>○</small> 助手 以外 の 数)	
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
総合基礎科目	スポーツ実技	1通	○	2								11	
	フレッシュマンイングリッシュ I -1	1前	○	1								4	
	フレッシュマンイングリッシュ I -2	1後		1								4	
	フレッシュマンイングリッシュ II -1	1前	○	1								4	
	フレッシュマンイングリッシュ II -2	1後		1								4	
	情報処理演習 I	1前	○	2								1	
	情報処理演習 II	1後		2								1	
	言語と文化 I	1前		1								7	
	言語と文化 II	1後		1								7	
	海外フィールドワーク	1後		4								1	
	福祉社会入門	1前		2								1	
	日本福祉大学の歴史	1後		2								1	
	知多学	1前		2								1	
	ヒューマンケアのための多職種連携	1後		2								2	
	福祉の力	2前		2								1	
	文書作成力演習	2後		2								4	
	人間発達学A	1前	○	2		1						1	
	保育実践入門	1前		2								1	
	教育実践入門	1後	○	2		1						1	
	障害学入門	1前	○	2		1						1	
	思春期のセクシャリティ	1前	○	2		1						1	
	心理学概論	1前		2								1	
	自然科学の世界	1前	○	2		1	1					1	
	社会科学の世界	1前	○	2		3						1	
	人文科学の世界	1前	○	2		1						1	
	総合演習 I	1前	○	2		6	3	1				3	
	ジェンダー論	1後	○	2		1						1	
	人間発達学B	1後	○	2		1		1				1	
	市民社会の諸問題	1後	○	2		1						1	
	日本国憲法	1後	○	2		1						1	
	スポーツと文化	1後		2								1	
	総合演習 II	1後	○	2		3	1	1				1	
	保育学基礎演習	2前		2								2	
	教育学基礎演習	2前	○	2		3	1					2	
	心理学基礎演習	2前		2								5	
	アダプテッド・スポーツ	4通		2								1	
	外国人留学生特例科目	日本語と文化 I -1	1前		1								1
		日本語と文化 I -2	1後		1								1
		日本語と文化 II -1	1前		1								1
		日本語と文化 II -2	1後		1								1
		日本語と文化 III -1	2前		1								1
		日本語と文化 III -2	2後		1								1
		日本語と文化 IV -1	2前		1								1
		日本語と文化 IV -2	2後		1								1
小計(44科目)	—		8	68	0	9	3	1	0	0	51		
専門科目	教職入門	1前	○	2		1						1	
	教育と発達心理学	1後	○	2								1	
	教育原理	1前	○	2		1						1	
	教育制度論	1後	○	2								1	
	特別支援教育概論	1後	○	2		1						1	
	教育課程論	1後	○	2			1					1	
	教育方法論(情報通信技術の活用含む)	2前	○	2			1					1	
	生徒・進路指導論	2後	○	2		1						1	
	道徳教育の理論と方法	3前	○	2								1	
	特別活動方法論	3前	○	2		1						1	
	教育相談の基礎と方法	3前	○	2		1						1	
	特別ニーズ教育論	3前	○	2			1					1	
	国語科研究	2前		2								1	
	社会科研究	2前	○	2			1					1	
	算数科研究	2後		2		1						1	
	音楽専門研究 I	2前		2				1				1	
造形専門研究 I	2前		2		1						1		
スポーツ専門研究 I	2前		2		1						1		
音楽専門研究 II	4前		2				1				1		
造形専門研究 II	4前		2		1						1		
スポーツ専門研究 II	4前		2		1						1		
理科学研究	2後		2		1						1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員を除く） 基幹教員以上の 助手を以て	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	教科研究	生活科学研究	2後		2								1
		家庭科学研究	2後		2								1
		外国語研究	2後		2								1
		家族社会学	1後		2		1						
		日本史概論	2前	○	2			1					
		外国史概論	2前	○	2								1
		地理学概論	2前	○	2				1				
		法学概論	2後	○	2			1					
		政治学概論	2後	○	2								1
		社会学概論	2前	○	2			1					
		経済学概論	2後	○	2								1
		哲学概論	2前	○	2			1					
		日本史特講	3後		2				1				
		近現代史	3後		2								1
		自然地理学	3後		2				1				
		人文地理学	3後		2				1				
		政治学特講	3前		2			1					1
		法学特講	3後		2			1					
		社会学特講	3後		2			1					
		経済学特講	3前		2								2
	哲学特講	3後		2			1						
	倫理学概論	3前	○	2			1						
	宗教学概論	3前	○	2								1	
	倫理学特講(死生学)	4前		2			1						
	福祉系	社会福祉論	1前		2		1						
		子ども家庭福祉論Ⅰ	2前		2								1
		子ども家庭福祉論Ⅱ	2後		2								2
		学校福祉論	2後	○	2			1					
		教育福祉論	3後		2								1
		司法福祉論	4前		2								1
	学童保育論	4後		2			1					2	
	演習系	学校教育演習	2後	○	3		3						
		学校教育学専門演習Ⅰ	3通	○	4		7	3	1				
		学校教育学専門演習Ⅱ	4通	○	4		8	3	1				
	教育実践系	国語科教育法	2後	○	2								1
		社会科教育法	2後	○	2		1						
		図画工作教育法	2後	○	2		1						
		音楽科教育法	2後	○	2				1				
		体育科教育法	2後	○	2		1						
		算数科教育法	3前	○	2		1						
		理科教育法	3前	○	2		1						
		生活科教育法	3前	○	2								1
		家庭科教育法	3前	○	2								2
		外国語教育法	3前	○	2								1
		総合的な学習の時間の指導法	3前	○	2								1
中等社会科教育法A		2後	○	2								1	
中等社会科教育法B		3前	○	2		1							
中等社会科教育法C		3前	○	2								1	
中等社会科教育法D		3後	○	2		1							
教職インターンシップⅠ		2通	○	2		1							
教育実習Ⅰ(小・事前事後)		3前	○	1		2	2	1					
教育実習Ⅱ(小)		3後	○	4		1							
教育実習Ⅰ(中・事前事後)		3-4後	○	1			1						
教育実習Ⅱ(中)		4前	○	4		1	1						
教職インターンシップⅡ	4後	○	2		2								
教職実践演習(小中)	4後	○	2		3	1							
特別支援教育	特別支援教育論	2前	○	2		1							
	知的障害児教育論	2後	○	2		1						1	
	知的障害児指導法	3前	○	2		1							
	肢体不自由児教育論	3前	○	2		1							
	肢体不自由児指導法	3後	○	2		1							
	特別支援教育課程論	2後	○	2		1						3	
	聴覚障害児指導法	3後	○	2								2	
	重度重複障害児教育論	3前	○	2		1							
	重度重複障害児指導法(総論)	3後	○	2		1							
	発達障害児指導法	2後	○	2								1	
	障害児教育特論	4前	○	2		1							
	障害児教育実習Ⅰ(事前事後)	4通	○	1		1							
障害児教育実習Ⅱ	4通	○	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外の教員(助手を除く)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	知的障害児の心理	1後	○		2		1						
	知的障害児の生理と病理	2前	○		2		1					1	
	肢体不自由児の心理	2前	○		2		1					1	
	肢体不自由児の生理と病理	2後	○		2		1					1	
	視覚・聴覚・病弱児論	2後	○		2		1					4	
	発達障害児論	2前	○		2							1	
	聴覚障害児の心理・生理・病理	3前			2							1	
	病弱児の心理・生理・病理	3前			2		1						
	動作法	3前			2							1	
	障害児アセスメント演習	4前			2		1						
小計(101科目)	-			8	200	0	13	3	1	0	0	30	
自由科目	ビジネススキル	2前				2						1	
	インターンシップⅢ	2通				1							
	インターンシップⅣ	2通				2							
	小計(3科目)	-		0	0	5	0	0	0	0	0	1	
合計(148科目)	-		16	268	5	13	3	1	0	0	77		
卒業要件及び履修方法													
4年以上在学し、総合基礎科目から28単位以上、専門科目から66単位以上を習得し、計124単位以上を習得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。**その上で、各年度については、「**基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)**」数は、認可時又は届出時の「**専任教員**」数との比較において変更となっている箇所、**「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)**」数は、**認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和2年度】→【令和1年度】→【令和0年度】→【令和5年度(旧)】→【令和4年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、「特別支援教育課程論」の基幹教員以外の教員を「0」から「3」に変更。
- ・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、「重度重複障害児指導法」を「重度重複障害児指導法（総論）」に変更。
- ・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、「知的障害児の生理と病理」の基幹教員以外の教員を「0」から「1」に変更。
- ・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、「肢体不自由児の心理」の基幹教員に「教授1」を追加。
- ・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、「肢体不自由児の生理と病理」の基幹教員以外の教員を「0」から「1」に変更。
- ・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、「視覚・聴覚・病弱児論」の基幹教員に「教授1」及び基幹教員以外の教員を「3」から「4」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「思春期のセクシャリティ」の担当者を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「特別支援教育概論」の担当者を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「学校教育学専門演習Ⅰ」の担当者を「教授6 准教授4」から「教授7 准教授3」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「学校教育学専門演習Ⅱ」の担当者を「教授7 准教授4」から「教授8 准教授3」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「教職インターンシップⅡ」の担当者を「教授1 准教授1」から「教授2」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「特別支援教育論」の担当者を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「知的障害児教育論」の担当者を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・基幹教員の職位昇格に伴い、「知的障害児指導法」の担当者を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・入学定員未充足に伴うクラス減により、「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」の基幹教員以外の教員を「7」から「4」に変更。
- ・入学定員未充足に伴うクラス減により、「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」の基幹教員以外の教員を「7」から「4」に変更。
- ・入学定員未充足に伴うクラス減により、「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」の基幹教員以外の教員を「7」から「4」に変更。
- ・入学定員未充足に伴うクラス減により、「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」の基幹教員以外の教員を「7」から「4」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「スポーツ実技」の基幹教員を「1」から「0」に、基幹教員以外の教員を「10」から「11」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「ヒューマンケアのための多職種連携」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「人間発達学B」の基幹教員を「1」から「2」に変更。
- ・クラス増及び担当者変更に伴い、「総合演習Ⅰ」の基幹教員を「9」から「10」に、基幹教員以外の教員を「2」から「3」に変更。
- ・クラス増及び担当者変更に伴い、「総合演習Ⅱ」の基幹教員を「3」から「5」に、基幹教員以外の教員を「7」から「0」に変更。
- ・時間割の調整に伴い、「教育実践入門」の開講期を「前期」から「後期」に変更。

【令和7年度】

- ・担当者変更に伴い、「スポーツ実技」の基幹教員以外の教員を「11」から「10」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「文書作成力演習」の基幹教員以外の教員を「4」から「1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「障害学入門」の担当者を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「自然科学の世界」の担当者を「教授1 准教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「社会科学の世界」の担当者を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「人文科学の世界」の担当者を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「総合演習Ⅰ」の基幹教員を「10」から「11」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「ジェンダー論」の担当者を教授「1」から基幹教員以外の教員に変更。
- ・担当者変更に伴い、「人間発達学B」の担当者を「教授1 講師1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「市民社会の諸問題」の担当者を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「総合演習Ⅱ」の担当者を「教授3」から「教授2 助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「保育学基礎演習」基幹教員以外の教員を「2」から「3」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「教育学基礎演習」の担当者を「教授3 准教授1」から「教授1 准教授1 講師1 助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「心理学基礎演習」基幹教員以外の教員を「5」から「4」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「教育原理」の担当者を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「教育制度論」の担当者を基幹教員以外の教員から「助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「哲学概論」の担当者を「教授1」から基幹教員以外の教員に変更。
- ・担当者変更に伴い、「子ども家庭福祉論Ⅱ」の基幹教員以外の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「学校教育演習」の担当者を「教授3」から「教授1 准教授1 講師1 助教1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「社会科教育法」の担当者を「教授1」から「教授1 准教授1」に変更。
- ・担当者変更に伴い、「教職インターンシップⅠ」の担当者を「教授1」から「教授1 講師1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	138 科目	3 科目	148 科目	7 科目 [-]	138 科目 [-]	3 科目 [-]	148 科目 [-]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{148} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	令和7年4月1日 校舎拡張用地購入： 2,2426,18		
	校舎敷地	251,967.65㎡ 229,541.47㎡	0㎡	0㎡	251,967.65㎡ 229,541.47㎡			
	そ の 他	35,345.69㎡	0㎡	0㎡	35,345.69㎡			
	合 計	287,313.34㎡ 264,887.16㎡	0㎡	0㎡	287,313.34㎡ 264,887.16㎡			
(2) 校舎	専 用	78,969.05㎡	0㎡	0㎡	78,969.05㎡			
	(78,969.05㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(78,969.05㎡)				
(3) 教室・教員研究室	教 室		367室 388室	教員研究室	18室 236室			
(4) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 冊	機械・器具 点	標本 点	
	教育・心理学部 学校教育学科	25,209 [667] (24,011) [574] (22,833 [572])	145 [40] (163 [0]) (112 [0])	6,235 [4,144] (7,585 [5,442]) (8,036 [5,884])	5,686 [4,021] (7,125 [5,357]) (7,532 [5,778])	234 (234)	2 (2)	大学全体 図書 632,155冊 [109,650冊] 626,123冊 (109,513冊) 613,311冊 (110,101冊) 学術雑誌 7,906冊 (5,469冊) 8,036冊 (5,884冊) 6,660冊 (4,225冊) 電子ジャーナル 7,125冊 (5,357冊) 7,532冊 (5,778冊) 5,686冊 (4,021冊) ※電子ジャーナル数は学部学 科単位で特定不能なため大学 全体の数 *教育環境の充実をはかるた め
	計	25,209 [667] (24,011) [574] (21,889 [547])	145 [40] (163 [0]) (25 [0])	6,235 [4,144] (7,585 [5,442]) (6,235 [4,144])	5,686 [4,021] (7,125 [5,357]) (5,686 [4,021])	234 (234)	2 (2)	
	スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			大学全体 : 集計方法の錯誤。
		711.37㎡ 3,778.13㎡		1626.93㎡ 403.01㎡		6321.15㎡ 4432.19㎡		
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	550千円	550千円	図書購入費	2,300千円	2,300千円	2,300千円
	共 同 研 究 費 等	16,500千円	16,500千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
	1,275千円	1,025千円	1,025千円	1,025千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用・事業収入等を充当する。						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本福祉大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	6	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
社会福祉学部	4	400	3年次40	1,680	-	0.68	-	-	昭和32	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
社会福祉学科	4	400	3年次40	1,680	学士(社会福祉学)	0.68	-	-	昭和32	同上				
経済学部	4	240	-	840	-	1.04	0.98	-	昭和51	愛知県東海市大田町下浜田1071番	令和7年度入学定員40名増			
経済学科	4	240	-	840	学士(経済学)	1.04	0.98	-	昭和51	同上				
福祉経営学部	4	800	3年次400	4,000	-	1.34	1.23	-	平成15	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
医療・福祉マネジメント学科	4	800	3年次400	4,000	学士(福祉経営学)	1.34	1.23	-	平成15	同上				
健康科学部	4	80	-	740	-	-	-	-	平成20	愛知県半田市東生見町26番2				
リハビリテーション学科	4	80	-	440	学士(健康科学)	0.87	-	-	平成20	同上	令和7年度入学定員40名減			
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士(健康科学)	1.01	0.98	-	平成20	同上				
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(健康科学)	0.92	-	-	平成20	同上				
介護学専攻	4	-	-	120	学士(健康科学)	0.62	-	-	平成20	同上	令和7年度学生募集停止			
福祉工学科	4	-	-	300	学士(健康科学)	0.57	-	-	平成20	同上	令和7年度学生募集停止			
教育・心理学部	4	315	-	1260	-	0.65	-	-	平成20	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
こども学科	4	120	-	670	学士(こども学)	0.46	-	-	平成20	同上	令和7年度学科名称変更			
学校教育学科	4	95	-	190	学士(学校教育)	0.61	-	-	令和6	同上				
心理学科	4	100	-	400	学士(心理学)	0.99	-	-	平成20	同上				
国際学部	4	80	-	320	-	0.98	-	-	平成20	愛知県東海市大田町下浜田1071番	令和6年学部名称変更			
国際学科	4	80	-	320	学士(国際学)	0.98	-	-	平成20	同上	令和6年学科名称変更			
看護学部	4	100	-	400	-	1.06	1.02	-	平成29	愛知県東海市大田町下浜田1071番				
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.06	1.02	-	平成29	同上				
スポーツ科学部	4	180	-	720	-	1.03	0.99	-	平成29	愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35番6				
スポーツ科学科	4	180	-	720	学士(スポーツ科学)	1.03	0.99	-	平成29	同上				
工学部	4	100	-	100	-	0.78	-	-	令和7	愛知県半田市東生見町26番2	令和7年度開設			
工学科	4	100	-	100	学士(工学)	0.78	-	-	令和7	同上				
大学全体	4	2,295	3年次440	10,060	-	0.87	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<教育・心理学部 学校教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	イガキ ケンジ 板垣 賢二 <令和6年4月>
		自然科学の世界 総合演習Ⅰ 教育学基礎演習 学校教育演習 算数科研究 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 算数科教育法 教職インターンシップⅠ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教職インターンシップⅡ 教職実践演習(小中)
基(主専)	教授	カハ 一弘 川邊 一弘 <令和7年9月>
		社会科教育法 中等社会科教育法B 中等社会科教育法D
基(主専)	教授	コカ ヒロシ 小坂 啓史 <令和6年4月>
		社会科学の世界 家族社会学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 社会学概論 政治学特講 社会学特講 社会福祉論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	スズキ ノブヒロ 鈴木 庸裕 <令和6年4月>
		教職入門 教育学基礎演習 学校福祉論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	ナガジマ リカ 中嶋 理香 <令和6年4月>
		総合演習Ⅰ 教育相談の基礎と方法 知的障害児の心理 知的障害児の生理と病理 肢体不自由児の生理と病理 病弱児の心理・生理・病理 聴覚障害児の心理・生理・病理 障害児アセスメント演習 学校教育学専門演習Ⅱ

【令和6年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	イガキ ケンジ 板垣 賢二 <令和6年4月>
		自然科学の世界 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 教育学基礎演習 学校教育演習 算数科研究 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 算数科教育法 教職インターンシップⅠ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教職インターンシップⅡ 教職実践演習(小中)
基(主専)	教授	カハ 一弘 川邊 一弘 <令和7年9月>
		社会科教育法 中等社会科教育法B 中等社会科教育法D
基(主専)	教授	コカ ヒロシ 小坂 啓史 <令和6年4月>
		人間発達学A 社会科学の世界 家族社会学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 社会学概論 政治学特講 社会学特講 社会福祉論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	スズキ ノブヒロ 鈴木 庸裕 <令和6年4月>
		教職入門 教育学基礎演習 学校福祉論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	ナガジマ リカ 中嶋 理香 <令和6年4月>
		教育相談の基礎と方法 知的障害児の心理 知的障害児の生理と病理 肢体不自由児の生理と病理 病弱児の心理・生理・病理 聴覚障害児の心理・生理・病理 障害児アセスメント演習 学校教育学専門演習Ⅱ 肢体不自由児の心理 視覚・聴覚・病弱児論

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	イガキ ケンジ 板垣 賢二 <令和6年4月>
		自然科学の世界 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 教育学基礎演習 算数科研究 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 算数科教育法 教職インターンシップⅠ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教職インターンシップⅡ 教職実践演習(小中)
基(主専)	教授	カハ 一弘 川邊 一弘 <令和7年9月>
		社会科教育法 中等社会科教育法B 中等社会科教育法D
基(主専)	教授	コカ ヒロシ 小坂 啓史 <令和6年4月>
		人間発達学A 社会科学の世界 家族社会学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 社会学概論 政治学特講 社会学特講 社会福祉論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	スズキ ノブヒロ 鈴木 庸裕 <令和6年4月>
		教職入門 教育実習入門 生徒・進路指導論 学校福祉論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	ナガジマ リカ 中嶋 理香 <令和6年4月>
		教育相談の基礎と方法 知的障害児の心理 知的障害児の生理と病理 肢体不自由児の生理と病理 病弱児の心理・生理・病理 聴覚障害児の心理・生理・病理 障害児アセスメント演習 学校教育学専門演習Ⅱ 肢体不自由児の心理 視覚・聴覚・病弱児論

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	フジイ ヒロキ 藤井 啓之 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 教育原理 学校教育学専門演習Ⅰ
基(主専)	教授	マルヤマ シンジ 丸山 真司 ＜令和6年4月＞
		人間発達学A 総合演習Ⅰ 教育学基礎演習 学校教育演習 教職実践演習(小中) スポーツ専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅱ 体育科教育法 スポーツ実技(バスケットボール)
基(主専)	教授	ミズノ アキ 水野 暁子 ＜令和7年9月＞
		理科研究 理科教育法
基(主専)	教授	マツタ アキラ 松下 明生 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 造形専門研究Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 図画工作教育法 造形専門研究Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後)
基(主専)	教授	ミヤコ ユウイチロウ 三宅 裕一郎 ＜令和6年4月＞
		社会科学の世界 総合演習Ⅰ 日本国憲法 法学概論 法学特講 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	ヤマモト トシロウ 山本 敏郎 ＜令和6年4月＞
		教育実践入門 生徒・進路指導論 特別活動方法論 学童保育論 学校教育演習 教職実践演習(小中)

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	フジイ ヒロキ 藤井 啓之 ＜令和6年4月＞
		教育実践入門 特別活動方法論 教育原理 学校教育学専門演習Ⅰ
基(主専)	教授	マルヤマ シンジ 丸山 真司 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 教育学基礎演習 学校教育演習 教職実践演習(小中) スポーツ専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅱ 体育科教育法
基(主専)	教授	ミズノ アキ 水野 暁子 ＜令和7年9月＞
		理科研究 理科教育法
基(主専)	教授	マツタ アキラ 松下 明生 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 人間発達学B 造形専門研究Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 図画工作教育法 造形専門研究Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後)
基(主専)	教授	ミヤコ ユウイチロウ 三宅 裕一郎 ＜令和6年4月＞
		社会科学の世界 総合演習Ⅰ 日本国憲法 総合演習Ⅱ 法学概論 法学特講 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	ヤマモト トシロウ 山本 敏郎 ＜令和6年4月＞
		教育実践入門 生徒・進路指導論 特別活動方法論 学童保育論 学校教育演習 教職実践演習(小中)

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	フジイ ヒロキ 藤井 啓之 ＜令和6年4月＞
		学校教育学専門演習Ⅰ 特別活動方法論
基(主専)	教授	マルヤマ シンジ 丸山 真司 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 学校教育演習 教職実践演習(小中) スポーツ専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅱ 体育科教育法
基(主専)	教授	ミズノ アキ 水野 暁子 ＜令和7年9月＞
		理科研究 理科教育法
基(主専)	教授	マツタ アキラ 松下 明生 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 自然科学の世界 造形専門研究Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 図画工作教育法 造形専門研究Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後)
基(主専)	教授	ミヤコ ユウイチロウ 三宅 裕一郎 ＜令和6年4月＞
		社会科学の世界 総合演習Ⅰ 日本国憲法 法学概論 法学特講 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	教授	ヤマモト トシロウ 山本 敏郎 ＜令和6年4月＞
		教育実践入門 生徒・進路指導論 特別活動方法論 学童保育論 学校教育演習 教職実践演習(小中)

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	7カシ ノリキ 赤石 憲昭 ＜令和6年4月＞
		社会科学の世界 人文科学の世界 ジェンダー論 市民社会の諸問題 哲学概論 哲学特講 政治学特講 倫理学概論 倫理学特講(死生学) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 教育実習Ⅱ(中)
基(主専)	教授	カキ ヒサシ 高木 尚 ＜令和6年4月＞
		障害学入門 肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 重度重複障害児教育論 重度重複障害児指導法
基(主専)	准教授	イトウ ナギ 伊藤 修毅 ＜令和6年4月＞
		思春期のセクシャリティ 特別支援教育概論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 特別支援教育論 知的障害児教育論 知的障害児指導法 特別支援教育課程論 障害児教育特論 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職インターンシップⅡ
基(主専)	准教授	イマイ リエ 今井 理恵 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 教育学基礎演習 教育課程論 教育方法論(情報通信技術の活用含む) 特別ニーズ教育論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教職実践演習(小中)
基(主専)	准教授	サイノウ カズハル 齊藤 一晴 ＜令和7年4月＞
		社会科学研究 日本史概論 日本史特講 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教育実習Ⅰ(中・事前事後) 教育実習Ⅱ(中) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	7カシ ノリキ 赤石 憲昭 ＜令和6年4月＞
		社会科学の世界 人文科学の世界 ジェンダー論 市民社会の諸問題 哲学概論 哲学特講 政治学特講 倫理学概論 倫理学特講(死生学) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 教育実習Ⅱ(中)
基(主専)	教授	カキ ヒサシ 高木 尚 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 障害学入門 肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 重度重複障害児教育論 重度重複障害児指導法
基(主専)	教授	イトウ ナギ 伊藤 修毅 ＜令和6年4月＞
		思春期のセクシャリティ 特別支援教育概論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 特別支援教育論 知的障害児教育論 知的障害児指導法 特別支援教育課程論 障害児教育特論 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職インターンシップⅡ
基(主専)	准教授	イマイ リエ 今井 理恵 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 教育学基礎演習 教育課程論 教育方法論(情報通信技術の活用含む) 特別ニーズ教育論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教職実践演習(小中)
基(主専)	准教授	サイノウ カズハル 齊藤 一晴 ＜令和7年4月＞
		総合演習Ⅰ 社会科学研究 日本史概論 日本史特講 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教育実習Ⅰ(中・事前事後) 教育実習Ⅱ(中) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	7カシ ノリキ 赤石 憲昭 ＜令和6年4月＞
		哲学特講 政治学特講 倫理学概論 倫理学特講(死生学) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 教育実習Ⅱ(中)
基(主専)	教授	イトウ ナギ 伊藤 修毅 ＜令和6年4月＞
		思春期のセクシャリティ 特別支援教育概論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 特別支援教育論 知的障害児教育論 知的障害児指導法 特別支援教育課程論 障害児教育特論 障害児教育実習Ⅰ(事前事後) 障害児教育実習Ⅱ 教職インターンシップⅡ
基(主専)	准教授	イマイ リエ 今井 理恵 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 教育学基礎演習 教育課程論 教育方法論(情報通信技術の活用含む) 特別ニーズ教育論 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教職実践演習(小中)
基(主専)	准教授	サイノウ カズハル 齊藤 一晴 ＜令和7年4月＞
		総合演習Ⅰ 社会科学研究 紅資料教育法 日本史概論 日本史特講 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 教育実習Ⅰ(中・事前事後) 教育実習Ⅱ(中) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	マツモト フトシ 松本 太 ＜令和6年4月＞
		自然科学の世界 人間発達学B 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 地理学概論 自然地理学 人文地理学 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	講師	シハラ マキ 篠原 真紀子 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ 音楽専門研究Ⅰ 音楽科教育法 教職インターンシップⅠ 音楽専門研究Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
その他	教授	カミムラ シンジ 中村 信次 ＜令和6年4月＞
		心理学概論
その他	教授	エンドウ ムミ 遠藤 由美 ＜令和6年4月＞
		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 教育福祉論

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	マツモト フトシ 松本 太 ＜令和6年4月＞
		自然科学の世界 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 地理学概論 自然地理学 人文地理学 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	講師	シハラ マキ 篠原 真紀子 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅰ 人間発達学B 総合演習Ⅱ 音楽専門研究Ⅰ 音楽科教育法 教職インターンシップⅠ 音楽専門研究Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
その他	教授	カミムラ シンジ 中村 信次 ＜令和6年4月＞
		心理学概論
その他	教授	エンドウ ムミ 遠藤 由美 ＜令和6年4月＞
		教育福祉論

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	准教授	マツモト フトシ 松本 太 ＜令和6年4月＞
		学校教育演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 地理学概論 自然地理学 人文地理学 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	講師	シハラ マキ 篠原 真紀子 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅰ 人文科学の世界 音楽専門研究Ⅰ 音楽科教育法 教職インターンシップⅠ 音楽専門研究Ⅱ 教育実習Ⅰ(小・事前事後) 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ
基(主専)	講師	タケワキ シンゴ 竹脇 真悟 ＜令和7年4月＞
		障害学入門 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 教育学基礎演習 学校教育演習 肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 重度重複障害児教育論 重度重複障害児指導法
基(主専)	助教	ハノノ マミ 坂野 愛実 ＜令和6年9月＞
		教育制度論 総合演習Ⅰ 人間発達学B 市民社会の問題 総合演習Ⅱ 教育学基礎演習 教育原理 学校教育演習
その他	教授	エンドウ ムミ 遠藤 由美 ＜令和6年4月＞
		教育福祉論

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	ワナハ ケイイチロウ 渡辺 顕一郎 ＜令和6年4月＞ 総合演習Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ
その他	教授	ヤマタ ソウシロウ 山田 杜志郎 ＜令和6年4月＞ 福祉社会入門
その他	教授	チカミ サトシ 千頭 聡 ＜令和6年4月＞ 知多学
その他	教授	ハシモト ヨシフミ 橋本 洋治 ＜令和6年9月＞ 教育制度論
その他	教授	ホライ ヒデユキ 洞井 秀之 ＜令和7年4月＞ 肢体不自由児の心理 視覚・聴覚・病弱児論 スポーツ実技
その他	准教授	スズキ ケンジ 鈴木 健司 ＜令和7年4月＞ ビジネススキル
その他	准教授	クドウ ヒデミ 工藤 英美 ＜令和6年9月＞ 教育と発達心理学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マツモト ユウ 松元 佑 ＜令和6年4月＞ 総合演習Ⅰ
その他	教授	ワナハ ケイイチロウ 渡辺 顕一郎 ＜令和6年4月＞ 総合演習Ⅰ 学童保育論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ
その他	助教	コバヤシ マミ 小林 眞弓 ＜令和6年4月＞ 福祉社会入門
その他	教授	チカミ サトシ 千頭 聡 ＜令和6年4月＞ 知多学
その他	講師	ハンノ マサミ 坂野 愛実 ＜令和6年9月＞ 教育制度論
その他	教授	ホライ ヒデユキ 洞井 秀之 ＜令和7年4月＞ 肢体不自由児の心理 視覚・聴覚・病弱児論 スポーツ実技
その他	准教授	スズキ ケンジ 鈴木 健司 ＜令和7年4月＞ ビジネススキル

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マツモト ユウ 松元 佑 ＜令和6年4月＞ 総合演習Ⅰ 心理学概論 保育学 基礎演習
その他	教授	ワナハ ケイイチロウ 渡辺 顕一郎 ＜令和6年4月＞ 総合演習Ⅰ 学童保育論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ
その他	教授	カタヤマ ヨシヒロ 片山 善博 ＜令和7年4月＞ 哲学概論
その他	助教	コバヤシ マミ 小林 眞弓 ＜令和6年4月＞ 福祉社会入門 福祉の力 文書作成力演習
その他	教授	チカミ サトシ 千頭 聡 ＜令和6年4月＞ 知多学
その他	教授	ホライ ヒデユキ 洞井 秀之 ＜令和7年4月＞ 肢体不自由児の心理 視覚・聴覚・病弱児論 スポーツ実技
その他	准教授	ソガベ シュンスケ 菅我部 教介 ＜令和7年4月＞ ビジネススキル

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	セチマ ハヤ 瀬地山 葉矢 ＜令和6年9月＞ 総合演習Ⅱ 心理学基礎演習
その他	准教授	セガ ナリミ 千賀 則史 ＜令和7年4月＞ 心理学基礎演習
その他	准教授	ホリ ミコ 堀 美和子 ＜令和7年4月＞ 心理学基礎演習 発達障害児論
その他	准教授	オミヤ トモコ 大宮 ともこ ＜令和7年9月＞ 知的障害児教育論
その他	講師	ムラカ ヒロキ 村川 弘城 ＜令和7年4月＞ 福祉の力 文書作成力演習
その他	講師	カーカトリック ゲイリー アラン KIRKPATRICK, Gary Alan ＜令和6年9月＞ 海外フィールドワーク
その他	講師	イシダ トミ 石田 知美 ＜令和6年9月＞ 日本福祉大学の歴史 文書作成力演習
その他	講師	ヤサキ ムスコ 矢崎 裕美子 ＜令和6年9月＞ 総合演習Ⅱ
その他	講師	ミズノ カズヨ 水野 和代 ＜令和7年9月＞ 発達障害児指導法
その他	講師	キヨト ユカ 清源 友香奈 ＜令和6年9月＞ 総合演習Ⅱ
その他	講師	サウ ダイスケ 佐藤 大介 ＜令和7年9月＞ 文書作成力演習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	セチマ ハヤ 瀬地山 葉矢 ＜令和6年9月＞ 心理学基礎演習
その他	准教授	セガ ナリミ 千賀 則史 ＜令和7年4月＞ 心理学基礎演習
その他	准教授	ホリ ミコ 堀 美和子 ＜令和7年4月＞ 心理学基礎演習 発達障害児論
その他	准教授	オミヤ トモコ 大宮 ともこ ＜令和7年9月＞ 知的障害児教育論
その他	准教授	フジタ ヒトミ 藤田 ひとみ ＜令和7年9月＞ 肢体不自由児の生理と病理
その他	講師	ムラカ ヒロキ 村川 弘城 ＜令和7年4月＞ 福祉の力 文書作成力演習
その他	講師	カーカトリック ゲイリー アラン KIRKPATRICK, Gary Alan ＜令和6年9月＞ 海外フィールドワーク
その他	講師	イシダ トミ 石田 知美 ＜令和6年9月＞ 日本福祉大学の歴史 文書作成力演習
その他	講師	ミズノ カズヨ 水野 和代 ＜令和7年9月＞ 発達障害児指導法
その他	講師	キヨト ユカ 清源 友香奈 ＜令和6年9月＞ 総合演習Ⅱ
その他	講師	サウ ダイスケ 佐藤 大介 ＜令和7年9月＞ 修士(社会福祉学)

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	フクモト リエ 福元 理英 ＜令和7年4月＞ 心理学基礎演習
その他	准教授	ホリ ミコ 堀 美和子 ＜令和7年4月＞ 発達障害児論
その他	准教授	オミヤ トモコ 大宮 ともこ ＜令和7年9月＞ 知的障害児教育論
その他	講師	フジタ ヒトミ 藤田 ひとみ ＜令和7年9月＞ 肢体不自由児の生理と病理
その他	講師	カーカトリック ゲイリー アラン KIRKPATRICK, Gary Alan ＜令和6年9月＞ 海外フィールドワーク
その他	講師	イシダ トミ 石田 知美 ＜令和6年9月＞ 日本福祉大学の歴史
その他	講師	ミズノ カズヨ 水野 和代 ＜令和7年9月＞ 発達障害児指導法
その他	講師	キヨト ユカ 清源 友香奈 ＜令和6年9月＞ 総合演習Ⅱ
その他	講師	サウ ダイスケ 佐藤 大介 ＜令和7年9月＞ 修士(社会福祉学)

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	イノ カコ 伊藤 加奈子 ＜令和6年4月＞
		思春期のセクシャリティ
その他	講師	フジ ヒロキ 藤井 博之 ＜令和6年9月＞
		ヒューマンケアのための多職種連携
その他	講師	マキ ミツル 牧野 満 ＜令和6年9月＞
		スポーツと文化 スポーツ実技
その他	講師	カワ キミヨ 河田 君代 ＜令和7年4月＞
		保育学基礎演習
その他	講師	ウラベ アヤコ 浦邊 綾子 ＜令和7年4月＞
		心理学基礎演習
その他	講師	ハヤカ ヒロキ 早坂 泰行 ＜令和7年4月＞
		外国史概論
その他	講師	カガキ キョト 中垣 清人 ＜令和7年4月＞
		国語科研究 国語科教育法
その他	講師	イワノリ マサキ 石渡 雅之 ＜令和7年4月＞
		外国語研究 外国語教育法
その他	講師	オミ イチ 大見 功 ＜令和7年4月＞
		中等社会科教育法A 聴覚障害児指導法 聴覚障害児の心理・生理・病理
その他	講師	ヤスケ ヒロキ 安武 裕和 ＜令和7年9月＞
		政治学概論 政治学特講

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	イノ カコ 伊藤 加奈子 ＜令和6年4月＞
		思春期のセクシャリティ
その他	教授	ノリ ヒ 野尻 紀恵 ＜令和6年9月＞
		ヒューマンケアのための多職種連携
その他	准教授	カミヤマ イヨ 上山崎 悦代 ＜令和6年9月＞
		ヒューマンケアのための多職種連携
その他	講師	マキ ミツル 牧野 満 ＜令和6年9月＞
		スポーツと文化 スポーツ実技
その他	講師	カワ キミヨ 河田 君代 ＜令和7年4月＞
		保育学基礎演習
その他	講師	ウラベ アヤコ 浦邊 綾子 ＜令和7年4月＞
		心理学基礎演習
その他	講師	ハヤカ ヒロキ 早坂 泰行 ＜令和7年4月＞
		外国史概論
その他	講師	カガキ キョト 中垣 清人 ＜令和7年4月＞
		国語科研究 国語科教育法
その他	講師	イワノリ マサキ 石渡 雅之 ＜令和7年4月＞
		外国語研究 外国語教育法
その他	講師	オミ イチ 大見 功 ＜令和7年4月＞
		中等社会科教育法A 聴覚障害児指導法 聴覚障害児の心理・生理・病理
その他	講師	ヤスケ ヒロキ 安武 裕和 ＜令和7年9月＞
		政治学概論 政治学特講

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	オオネ キヌヨ 大根 絹代 ＜令和7年4月＞
		ジェンダー論
その他	教授	ノリ ヒ 野尻 紀恵 ＜令和6年9月＞
		ヒューマンケアのための多職種連携
その他	准教授	カミヤマ イヨ 上山崎 悦代 ＜令和6年9月＞
		ヒューマンケアのための多職種連携
その他	講師	マキ ミツル 牧野 満 ＜令和6年9月＞
		スポーツと文化 スポーツ実技
その他	講師	カワ キミヨ 河田 君代 ＜令和7年4月＞
		保育学基礎演習
その他	講師	ハヤカ ヒロキ 早坂 泰行 ＜令和7年4月＞
		外国史概論
その他	講師	イワノリ マサキ 石渡 雅之 ＜令和7年4月＞
		外国語研究 外国語教育法
その他	講師	オミ イチ 大見 功 ＜令和7年4月＞
		中等社会科教育法A 聴覚障害児指導法 聴覚障害児の心理・生理・病理
その他	講師	ヤスケ ヒロキ 安武 裕和 ＜令和7年9月＞
		政治学概論 政治学特講

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	タナハ ヒロト 竹内 啓仁 ＜令和7年9月＞
		経済学概論 経済学特講
その他	講師	サタ ヒロシ 澤田 好江 ＜令和7年9月＞
		生活科研究 生活科教育法 総合的な学習の時間の指導法
その他	講師	イノウエ ヒトミ 井上 ひとみ ＜令和7年9月＞
		視覚・聴覚・病弱児論
その他	講師	ナガサキ タツキ 長崎 龍樹 ＜令和7年9月＞
		視覚・聴覚・病弱児論
(空欄)		
その他	講師	ハマダ サユミ 濱千代 早由美 ＜令和8年4月＞
		宗教学概論
その他	講師	モリサキ ヒロシ 森崎 博志 ＜令和8年4月＞
		動作法
その他	講師	シバタ ヤスマサ 柴田 康正 ＜令和8年4月＞
		道德教育の理論と方法
その他	講師	カノウ カズコ 加藤 和子 ＜令和8年4月＞
		中等社会科教育法C
その他	講師	セキガチ テツヤ 関口 哲矢 ＜令和8年9月＞
		近現代史
その他	講師	アラガ ヒロシ 荒賀 博志 ＜令和9年4月＞
		アダプテッド・スポーツ

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	タナハ ヒロト 竹内 啓仁 ＜令和7年9月＞
		経済学概論 経済学特講
その他	講師	サタ ヒロシ 澤田 好江 ＜令和7年9月＞
		生活科研究 生活科教育法 総合的な学習の時間の指導法
その他	講師	イノウエ ヒトミ 井上 ひとみ ＜令和7年9月＞
		視覚・聴覚・病弱児論 特別支援教育課程論
その他	講師	ナガサキ タツキ 長崎 龍樹 ＜令和7年9月＞
		視覚・聴覚・病弱児論 特別支援教育課程論
その他	講師	カノウ ナツコ 榎木 暢子 ＜令和7年9月＞
		特別支援教育課程論 視覚・聴覚・病弱児論
その他	講師	ハマダ サユミ 濱千代 早由美 ＜令和8年4月＞
		宗教学概論
その他	講師	モリサキ ヒロシ 森崎 博志 ＜令和8年4月＞
		動作法
その他	講師	シバタ ヤスマサ 柴田 康正 ＜令和8年4月＞
		道德教育の理論と方法
その他	講師	カノウ カズコ 加藤 和子 ＜令和8年4月＞
		中等社会科教育法C
その他	講師	セキガチ テツヤ 関口 哲矢 ＜令和8年9月＞
		近現代史
その他	講師	アラガ ヒロシ 荒賀 博志 ＜令和9年4月＞
		アダプテッド・スポーツ

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	タナハ ヒロト 竹内 啓仁 ＜令和7年9月＞
		経済学概論 経済学特講
その他	講師	サタ ヒロシ 澤田 好江 ＜令和7年9月＞
		生活科研究 生活科教育法 総合的な学習の時間の指導法
その他	講師	イノウエ ヒトミ 井上 ひとみ ＜令和7年9月＞
		視覚・聴覚・病弱児論 特別支援教育課程論
その他	講師	ナガサキ タツキ 長崎 龍樹 ＜令和7年9月＞
		視覚・聴覚・病弱児論 特別支援教育課程論
その他	講師	カノウ ナツコ 榎木 暢子 ＜令和7年9月＞
		特別支援教育課程論 視覚・聴覚・病弱児論
その他	講師	ハマダ サユミ 濱千代 早由美 ＜令和8年4月＞
		宗教学概論
その他	講師	モリサキ ヒロシ 森崎 博志 ＜令和8年4月＞
		動作法
その他	講師	シバタ ヤスマサ 柴田 康正 ＜令和8年4月＞
		道德教育の理論と方法 国際科研究 国際科教育法
その他	講師	カノウ カズコ 加藤 和子 ＜令和8年4月＞
		中等社会科教育法C
その他	講師	セキガチ テツヤ 関口 哲矢 ＜令和8年9月＞
		近現代史
その他	講師	アラガ ヒロシ 荒賀 博志 ＜令和9年4月＞
		アダプテッド・スポーツ

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	好カ ナレト 田中 教仁 ＜令和9年4月＞
		司法福祉論
その他	講師	ウノ アキヒロ 宇野 朗宏 ＜令和7年9月＞
		文書作成力演習
その他	講師	カヤマ ヒロミツ 亀山 洋光 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	スキウ ユウコ 杉浦 祐子 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	タニガチ ノリヒト 谷口 紀仁 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	オノキ エリコ 尾崎 恵理子 ＜令和7年4月＞
		保育学基礎演習
その他	講師	ツカモト ヨシノブ 塚本 恵信 ＜令和6年9月＞
		教育と発達心理学
その他	講師	オノマ キョウコ 尾島 恭子 ＜令和7年9月＞
		家庭科研究
その他	講師	カハタ ジュンコ 川村 潤子 ＜令和8年4月＞
		経済学特講
その他	講師	シラ ユウカ 金 仙玉 ＜令和7年9月＞
		子ども家庭福祉論Ⅱ
その他	講師	トミタ ミチコ 富田 道子 ＜令和8年4月＞
		家庭科教育法
その他	講師	ウラベキ トモコ 綿引 伴子 ＜令和8年4月＞
		家庭科教育法

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	好カ ナレト 田中 教仁 ＜令和9年4月＞
		司法福祉論
その他	講師	ウノ アキヒロ 宇野 朗宏 ＜令和7年9月＞
		文書作成力演習
その他	講師	カヤマ ヒロミツ 亀山 洋光 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	スキウ ユウコ 杉浦 祐子 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	タニガチ ノリヒト 谷口 紀仁 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	オノキ エリコ 尾崎 恵理子 ＜令和7年4月＞
		保育学基礎演習
その他	講師	ツカモト ヨシノブ 塚本 恵信 ＜令和6年9月＞
		教育と発達心理学
その他	講師	オノマ キョウコ 尾島 恭子 ＜令和7年9月＞
		家庭科研究
その他	講師	カハタ ジュンコ 川村 潤子 ＜令和8年4月＞
		経済学特講
その他	講師	シラ ユウカ 金 仙玉 ＜令和7年9月＞
		子ども家庭福祉論Ⅱ
その他	講師	トミタ ミチコ 富田 道子 ＜令和8年4月＞
		家庭科教育法
その他	講師	ウラベキ トモコ 綿引 伴子 ＜令和8年4月＞
		家庭科教育法

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	好カ ナレト 田中 教仁 ＜令和9年4月＞
		司法福祉論
その他	講師	ウノ アキヒロ 宇野 朗宏 ＜令和7年9月＞
		文書作成力演習
その他	講師	カヤマ ヒロミツ 亀山 洋光 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	スキウ ユウコ 杉浦 祐子 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	タニガチ ノリヒト 谷口 紀仁 ＜令和6年9月＞
		総合演習Ⅱ
その他	講師	オノキ エリコ 尾崎 恵理子 ＜令和7年4月＞
		保育学基礎演習
その他	講師	ツカモト ヨシノブ 塚本 恵信 ＜令和6年9月＞
		教育と発達心理学
その他	講師	オノマ キョウコ 尾島 恭子 ＜令和7年9月＞
		家庭科研究
その他	講師	カハタ ジュンコ 川村 潤子 ＜令和8年4月＞
		経済学特講
その他	講師	シラ ユウカ 金 仙玉 ＜令和7年9月＞
		子ども家庭福祉論Ⅱ
その他	講師	トミタ ミチコ 富田 道子 ＜令和8年4月＞
		家庭科教育法 家庭科研究
その他	講師	ウラベキ トモコ 綿引 伴子 ＜令和8年4月＞
		家庭科教育法

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	アンドウ 邦寿 安藤 邦寿 ＜令和8年9月＞
		聴覚障害児指導法
その他	講師	タムラ 秀史 高村 秀史 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	コバヤシ 洋平 小林 洋平 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	トミノ ジュンコ 富野 順子 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	マキノ ミル 牧野 満 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ハン 孟 樊 孟 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	イナギ ケイト 稲垣 賢人 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	トウ カイロウ 湯 海鵬 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ウチダ トモコ 内田 智子 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	アマノ トオル 天野 透 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	イトウ コウタ 伊藤 康太 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ヤスダ マナ 安田 真奈 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	アンドウ 邦寿 安藤 邦寿 ＜令和8年9月＞
		聴覚障害児指導法
その他	講師	タムラ 秀史 高村 秀史 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	コバヤシ 洋平 小林 洋平 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	トミノ ジュンコ 富野 順子 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	マキノ ミル 牧野 満 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ハン 孟 樊 孟 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	イナギ ケイト 稲垣 賢人 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ウチダ トモコ 内田 智子 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	アマノ トオル 天野 透 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	イトウ コウタ 伊藤 康太 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ヤスダ マナ 安田 真奈 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	アンドウ 邦寿 安藤 邦寿 ＜令和8年9月＞
		聴覚障害児指導法
その他	講師	タムラ 秀史 高村 秀史 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	コバヤシ 洋平 小林 洋平 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	トミノ ジュンコ 富野 順子 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	マキノ ミル 牧野 満 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ハン 孟 樊 孟 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	イナギ ケイト 稲垣 賢人 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ウチダ トモコ 内田 智子 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	アマノ トオル 天野 透 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	イトウ コウタ 伊藤 康太 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技
その他	講師	ヤスダ マナ 安田 真奈 ＜令和6年4月＞
		スポーツ実技

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	オハラ スズ 尾山 晋 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I-1 フレッシュマンイングリッシュ I-2
その他	講師	ナカノ シンゴ 中島 眞吾 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I-1 フレッシュマンイングリッシュ I-2
その他	講師	タケノ リョウコ 竹多 亮子 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I-1 フレッシュマンイングリッシュ I-2
その他	講師	ハトリ シゲル 服部 茂 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I-1 フレッシュマンイングリッシュ I-2
その他	講師	ヤマダ ナミ 山田 尚美 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I-1 フレッシュマンイングリッシュ I-2
その他	講師	イノウエ トシヨシ 井上 敏郎 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II-1 フレッシュマンイングリッシュ II-2
その他	講師	オケキ シュウジ 尾関 修治 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	ナカガワ サトシ 中川 聡 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2
その他	講師	クニ カチ 屈 佳伸 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II-1 フレッシュマンイングリッシュ II-2

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	オハラ スズ 尾山 晋 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	ナカノ シンゴ 中島 眞吾 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	タケノ リョウコ 竹多 亮子 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	ハトリ シゲル 服部 茂 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	オケキ シュウジ 尾関 修治 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	ナカガワ サトシ 中川 聡 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2
その他	講師	クニ カチ 屈 佳伸 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	オハラ スズ 尾山 晋 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	ナカノ シンゴ 中島 眞吾 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	タケノ リョウコ 竹多 亮子 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2 フレッシュマンイングリッシュ II-1 フレッシュマンイングリッシュ II-2
その他	講師	ハトリ シゲル 服部 茂 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I -1 フレッシュマンイングリッシュ I -2
その他	講師	オケキ シュウジ 尾関 修治 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II-1 フレッシュマンイングリッシュ II-2
その他	講師	ナカガワ サトシ 中川 聡 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2
その他	講師	クニ カチ 屈 佳伸 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マツ ユカリ 松尾 由佳理 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II-1 フレッシュマンイングリッシュ II-2
その他	講師	キノウ キョウコ 木下 恭子 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ I-1 フレッシュマンイングリッシュ I-2 フレッシュマンイングリッシュ II-1 フレッシュマンイングリッシュ II-2
その他	講師	ハオジイホ 包 継紅 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カヅカ リョウ 中塚 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カミヤ タロウ 神谷 太郎 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カガサキ ユミ 永澤 由美 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	サウ ナタリア 佐藤 ナタリア ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カウ シェラー マミ 加藤 シェラー 真弓 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	サカイ リカ 櫻井 里香 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マツ ユカリ 松尾 由佳理 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2
その他	講師	ハオジイホ 包 継紅 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カヅカ リョウ 中塚 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	ミエ セイイ 三重野 聖愛 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	サウ ナタリア 佐藤 ナタリア ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カウ シェラー マミ 加藤 シェラー 真弓 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	サカイ リカ 櫻井 里香 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	マツ ユカリ 松尾 由佳理 ＜令和6年4月＞
		フレッシュマンイングリッシュ II -1 フレッシュマンイングリッシュ II -2
その他	講師	ハオジイホ 包 継紅 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カヅカ リョウ 中塚 亮 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カミヤ タロウ 神谷 太郎 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カガサキ ユミ 永澤 由美 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	サウ ナタリア 佐藤 ナタリア ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	カウ シェラー マミ 加藤 シェラー 真弓 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II
その他	講師	サカイ リカ 櫻井 里香 ＜令和6年4月＞
		言語と文化 I 言語と文化 II

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	ミツノ ユウヘイ 光田 雄平 ＜令和6年4月＞
		言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ
その他	講師	イシカワ キミコ 石川 公子 ＜令和6年4月＞
		日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2
その他	講師	ミズノ アイコ 水野 愛子 ＜令和6年4月＞
		日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
その他	講師	ハチノベ テツオ 賀屋 哲男 ＜令和9年9月＞
		学童保育論
その他	講師	タテヤマ ミホ 立嶋 美穂 ＜令和9年9月＞
		学童保育論
その他	講師	フクノ エリコ 福嶋 恵理子 ＜令和6年4月＞
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
その他	講師	カメノ カズヒ 亀谷 和史 ＜令和6年4月＞
		保育実践入門
その他	講師	ウラハ アヤコ 浦邊 綾子 ＜令和7年4月＞
		心理学基礎演習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	ミツノ ユウヘイ 光田 雄平 ＜令和6年4月＞
		言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ
その他	講師	イシカワ キミコ 石川 公子 ＜令和6年4月＞
		日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2
その他	講師	ミズノ アイコ 水野 愛子 ＜令和6年4月＞
		日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
その他	講師	ハチノベ テツオ 賀屋 哲男 ＜令和9年9月＞
		学童保育論
その他	講師	タテヤマ ミホ 立嶋 美穂 ＜令和9年9月＞
		学童保育論
その他	講師	フクノ エリコ 福嶋 恵理子 ＜令和6年4月＞
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
その他	講師	カメノ カズヒ 亀谷 和史 ＜令和6年4月＞
		保育実践入門 総合演習Ⅰ
その他	講師	ウラハ アヤコ 浦邊 綾子 ＜令和7年4月＞
		心理学基礎演習
その他	講師	マキ シンジ 牧 真吉 ＜令和7年9月＞
		知的障害児の生理と病理

教員 区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	イシカワ キミコ 石川 公子 ＜令和6年4月＞
		日本語と文化Ⅰ-1 日本語と文化Ⅰ-2 日本語と文化Ⅲ-1 日本語と文化Ⅲ-2
その他	講師	ミズノ アイコ 水野 愛子 ＜令和6年4月＞
		日本語と文化Ⅱ-1 日本語と文化Ⅱ-2 日本語と文化Ⅳ-1 日本語と文化Ⅳ-2
その他	講師	ハチノベ テツオ 賀屋 哲男 ＜令和9年9月＞
		学童保育論
その他	講師	タテヤマ ミホ 立嶋 美穂 ＜令和9年9月＞
		学童保育論
その他	講師	フクノ エリコ 福嶋 恵理子 ＜令和6年4月＞
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
その他	講師	カメノ カズヒ 亀谷 和史 ＜令和6年4月＞
		保育実践入門 総合演習Ⅰ 心理学基礎演習
その他	講師	マキ シンジ 牧 真吉 ＜令和7年9月＞
		知的障害児の生理と病理
その他	講師	ナミキ タカヒロ 並木 崇浩 ＜令和7年4月＞
		心理学基礎演習
その他	講師	ハシイ ダイスケ 橋井 大輔 ＜令和7年4月＞
		心理学基礎演習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	テツイ フミヒト 鉄井 史人 <令和7年4月> 発達障害児指導法
		ソウ フクミ 宋 福美 <令和7年4月> 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ
その他	講師	ハマサキ テホコ 濱崎 千穂子 <令和7年4月> 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ①担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】
<ul style="list-style-type: none">・板垣教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を追加。・小坂教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「人間発達学A」を追加。・中嶋教授(基(主専))について、教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い「肢体不自由児の心理」及び「視覚・聴覚・病弱児論」を追加し、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」を削除。・藤井教授(基(主専))について、山本教授の就任辞退に伴い「教育実践入門」を追加し、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」を削除。・丸山教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「人間発達学A」及び「スポーツ実技」を削除。・松下教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「人間発達学B」を追加。・三宅教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を追加。・山本教授(基(主専))について、就任辞退に伴い担当科目を削除。・高木教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」を追加。・伊藤准教授(基(主専))について、職位昇格に伴い職名を教授に変更。・齋藤准教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」を追加。・松本准教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「人間発達学B」を削除。・篠原講師(基(主専))について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」及び「人間発達学B」を追加。・遠藤教授(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」及び「総合演習Ⅱ」を削除し、新たに松元講師(その他)を「総合演習Ⅰ」の担当者として追加。・山田教授(その他)について、担当者変更に伴い「福祉社会入門」を削除し、新たに小林講師(その他)を担当者として追加。・橋本教授(その他)について、担当者変更に伴い「教育制度論」を削除し、新たに坂野(その他)を担当者として追加。・工藤准教授(その他)について、担当者変更に伴い「教育と発達心理学」を削除。・瀬地山准教授(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を削除。・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、藤田准教授(その他)に「肢体不自由児の生理の病理」を追加。・矢崎講師(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を削除。・藤井講師(その他)について、就任辞退に伴い担当科目を削除し、「ヒューマンケアのための多職種連携」の担当者として野尻教授(その他)及び上山崎准教授(その他)を追加。・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、井上講師(その他)に「特別支援教育課程論」を追加。・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、櫻木講師(その他)に「特別支援教育課程論」及び「視覚・聴覚・病弱児論」を追加。・竜山講師(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を削除。・杉浦講師(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を削除。・谷口講師(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を削除。・湯講師(その他)について、担当者変更に伴い「スポーツ実技」を削除。・伊藤講師(その他)について、担当者変更に伴い「スポーツ実技」を追加。・安田講師(その他)について、担当者変更に伴い「スポーツ実技」を追加。・山田講師(その他)について、入学定員未充足に伴うクラス減に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」及び「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」を削除。・井上講師(その他)について、担当者変更に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」及び「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」を削除。・尾関講師(その他)について、担当者変更に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」及び「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」を追加。・木下講師(その他)について、入学定員未充足に伴うクラス減に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」、「フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」、「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」、「フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」を削除。・神谷講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」及び「言語と文化Ⅱ」を削除。・三重野講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」及び「言語と文化Ⅱ」を追加。・永澤講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」及び「言語と文化Ⅱ」を削除。・佐藤講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」及び「言語と文化Ⅱ」を追加。・亀谷講師(その他)について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅰ」を追加。・教職課程認定申請の審査意見への対応に伴い、牧講師(その他)に「知的障害児の生理と病理」を追加。

【令和7年度】
<ul style="list-style-type: none">・板垣教授(基(主専))について、担当者変更に伴い削除。・鈴木教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「教育実践入門」「生徒・進路指導論」を追加。・藤井教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「教育実践入門」、「教育原理」を削除。・丸山教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「教育学基礎演習」を削除。・松下教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「自然科学の世界」を追加、「人間発達学B」を削除。・三宅教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「総合演習Ⅱ」を削除。・赤石教授(基(主専))について、学外研究に伴い「社会科学の世界」、「人文科学の世界」、「ジェンダー論」、「市民社会の諸問題」、「哲学概論」を削除。・齋藤准教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「社会科教育法」を追加。・松本准教授(基(主専))について、担当者変更に伴い「学校教育演習」を追加、「自然科学の世界」を削除。・篠原講師(基(主専))について、担当者変更に伴い「人文科学の世界」を追加、「総合演習Ⅱ」を削除。・竹脇講師(基(主専))について、新規採用に伴い「障害学入門」、「総合演習Ⅰ」、「教育学基礎演習」、「学校教育演習」、「肢体不自由児教育論」、「肢体不自由児指導法」、「重度重複障害児教育論」、「重度重複障害児指導法」を追加。・坂野助教について講師(その他)から助教(基(主専))に変更し、「総合演習Ⅰ」、「人間発達学」、「市民社会の諸問題」、「総合演習Ⅰ」、「教育学基礎演習」、「教育原理」、「学校教育演習」を追加。・中村次教授について担当者変更に伴い「心理学概論」を削除。・松元講師(その他)について、担当者変更に伴い「心理学概論」、「保育学」、「基礎演習」を追加。・片山教授(その他)について担当者変更に伴い「哲学概論」を追加。・小林助教(その他)について、担当者変更に伴い「福祉の力」、「文書作成力演習」を追加。・鈴木准教授(その他)について、担当者変更に伴い「ビジネススキル」を削除。・曾我部准教授(その他)について、担当者変更に伴い「ビジネススキル」を追加。・瀬地山准教授(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を削除。・福元准教授(その他)について担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を追加。・福元教授(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を削除。・藤田講師(その他)について准教授(その他)から講師(その他)に変更。・石田講師(その他)について、担当者変更に伴い「文書作成力演習」を削除。・大根講師(その他)について、担当者変更に伴い「ジェンダー論」を追加。・浦通講師(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を削除。・中垣講師(その他)について、担当者変更に伴い「国語科研究」、「国語科教育法」を削除。・柴田講師(その他)について、担当者変更に伴い「国際科研究」、「国際科教育法」を追加。・宇野講師(その他)について、担当者変更に伴い「文書作成力演習」を削除。・尾崎講師(その他)について、担当者変更に伴い「保育学基礎演習」を削除。・尾島講師(その他)について、担当者変更に伴い「家庭科研究」を削除。・金講師(その他)について、担当者変更に伴い「子ども家庭福祉Ⅱ」を削除。・富田講師(その他)について、担当者変更に伴い「家庭科研究」を追加。・梁講師(その他)について、担当者変更に伴い「スポーツ実技」を削除。・竹多講師(その他)について、担当者変更に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」、フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」を追加。・尾関講師(その他)について、担当者変更に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」、フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」を追加。「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」、フレッシュマンイングリッシュⅠ-2」を削除。・藤講師(その他)について、担当者変更に伴い「フレッシュマンイングリッシュⅡ-1」、フレッシュマンイングリッシュⅡ-2」を削除。・三重野講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」、「言語と文化Ⅱ」を削除。・光田講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」、「言語と文化Ⅱ」を削除。・亀谷講師(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を追加。・浦通講師(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を追加。・並木講師(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を追加。・橋井講師(その他)について、担当者変更に伴い「心理学基礎演習」を追加。・鉄井講師(その他)について、担当者変更に伴い「発達障害児指導法」を追加。・宋講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」、「言語と文化Ⅱ」を追加。・濱崎講師(その他)について、担当者変更に伴い「言語と文化Ⅰ」、「言語と文化Ⅱ」を追加。

(注) 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A教員審査)を受けてください。

原則としてA・C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員を「基幹教員」とする場合は、A教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A教員審査を受審する必要があります。)

・A教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月〇日教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
6 名	3 名	5 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B'）
13	4	1	0	18	18	0	12	3	2	1	18	18	0
(11)	(3)	(0)	(0)	(14)	(14)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D'）
13	3	1	0	17	17	0	13	3	1	1	18	18	0
[0]	[△1]	[0]	[0]	[△1]	[△1]	(0)	[0]	[△1]	[0]	[+1]	[0]	[0]	(0)

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）」欄には「-」を記入してください。
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	3 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{18} = \boxed{94.44} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{17}{18} = \boxed{94.44} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	山本 敏郎	R6.4	選択	教育実践入門	①	R6.4 体調不良のため就任辞退（6）			
				選択	生徒・進路指導論	①				
				選択	特別活動方法論	①				
				選択	学童保育論	②				
				選択	学校教育演習	①				
				選択	教職実践演習（小中）	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	5	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	高木 尚	R7.4	選択	総合演習 I	①	R7.4 届出時の附帯事項に対応するため(7)			
				選択	障害学入門	①				
				選択	肢体不自由児教育論	①				
				選択	肢体不自由児指導法	①				
				選択	重度重複障害児教育論	①				
				選択	重度重複障害児指導法	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	12 科目	選択	11 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	12 科目	計	11 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{18} = 11.11 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当無し							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
- ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼任教員)が担当する(している)場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

山本教授の就任辞退に伴う対応として、「教育実践入門(1年次配当)」の担当者を藤井教授(基幹教員(専任))に変更し、科目担当者変更は授業科目概要(シラバス)や時間割を通して学生へ周知を図っている。令和7年度開講予定(2年次配当)科目は、基幹教員の新規採用による対応を検討している。(6)
令和6年度就任辞退の山本教授の後任として、竹脇講師を採用し、高木教授の就任辞退に伴う対応として、坂野助教を採用した。昨年度に引き続き、科目担当者変更は授業科目概要(シラバス)や時間割を通して学生へ周知を図っている。(7)

(注) ・ 上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること	【届出】 遵守事項 本学では、「日本福祉大学特別任用教授規程」、「日本福祉大学招聘教員規程」、「日本福祉大学特命教員規程」において、必要な条件を満たし、必要とされる手続きを経た場合に限り、雇用期間を満70才に達した年度末までとできるとしている。教育研究活動を積極的に展開する上で、適正な教員編成（年齢構成と各専門領域の職位別の教員配置）とするため、「教員組織の編成の考え方及び特色（設置の趣旨等を記載した書類）」のとおり計画し、取組みを進めている。あわせて、助教から准教授、准教授から教授への昇任等を適切に行うことにより、基幹教員の構成について一層の適正化を図るための取組みを進めている。（6）（7）	履行中 教員組織の編成においては、大学、学部、学科の将来計画を鑑み、大学および学部が定める「求める人材像および教員組織の編制方針」に則って、教育職員免許状付与課程の維持に必要な人員配置に留意するとともに退職者の補充については、専門分野、職位、年齢、性別構成等のバランスを勘案しながら、教員組織の継続性及び一貫性を保つよう努める。（6）（7）
届 出 時 (令和5年)	福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科（通信教育）の収容定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 過去4年間の収容定員充足率は以下の通りである。 令和3年度：1.70（6,806/4,000） 令和4年度：1.47（5,895/4,000） 令和5年度：1.22（4,896/4,000） 令和6年度：1.19（4,761/4,000） ※収容定員充足率（在籍者数/収容定員） 令和6年度には1.19倍にまで収容定員充足率を抑制した。これは教育の質的向上のため実習科目の履修定員を厳格化し、社会福祉士実習履修者・入学前選抜試験を令和5年度入試より導入したことによる効果である。（6） 過去4年間の収容定員充足率は以下の通りである。 令和4年度：1.47（5,895/4,000） 令和5年度：1.22（4,896/4,000） 令和6年度：1.19（4,761/4,000） 令和7年度：1.34（5,351/4,000） ※収容定員充足率（在籍者数/収容定員） 令和4年度以降、収容定員超過は改善状況が続いていたが、令和7年度収容定員充足率は1.34となったため、令和9年度以降の定員変更（定員増）も視野に入れた検討を進める計画である。（7）	履行中 今後も、収容定員の適正化に向けた管理のあり方について、検討を引き続き行う。（6） 収容定員の適正化に向けた収容定員設定のあり方について検討を行う。（7）
届 出 時 (令和5年)	教育・心理学部子ども発達学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 教育・心理学部においては、直近5年間において在籍学生数が157人減少している。その要因として、東海4県の受験生の減少に加え、保育系分野の志願者数が全国的に減少傾向にあることと分析している。上記の分析を踏まえ、教育・心理学部子ども発達学科における2専修（保育・幼児教育専修/学校教育専修）を、子ども発達学科と学校教育学科へと再編し、教育課程の特徴の明確化に取り組んだ。（6） 収容定員未充足の改善に向けた対応として、教育課程の特長を明確にするため、令和7年度より学科名称を「こども学科」に変更した。また、同年度入学者選抜より、全学部を対象とした学費減免制度（一般入学試験【前期日程】A方式（3教科型）の合格者の内、成績上位者25%が対象）を導入するとともに、学校推薦型選抜（一般推薦入学試験）に適性検査型を導入した。令和8年度入学者選抜に向けて、高校訪問やオープンキャンパス等において周知を図っている。（7）	履行中 当該学科の収容定員未充足の是正に向けて、インクルーシブ保育・幼児教育の実現を目指す保育者の育成を目標に掲げる特徴を明示するため、令和7年度に学科名称を「こども学科」へ変更することを計画している。（6） 学科名称変更後も収容定員未充足状況が改善されないため、令和9年度以降の定員変更（定員減）に向けた検討に着手した。（7）
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部福祉工学科)	【A.C】 指摘事項 (改善) 令和7年度開設の工学部工学科への改組再編に伴い、同年度より学生募集を停止した。（7）	履行中 令和7年度開設の工学部工学科においても、教育内容の充実等を通じた学生募集強化に引き続き取り組む。（7）
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (教育・心理学部学校教育学科)	【A.C】 指摘事項 (改善) 収容定員未充足の改善に向けた対応として、令和7年度入学者選抜より、全学部を対象とした学費減免制度（一般入学試験【前期日程】A方式（3教科型）の合格者の内、成績上位者25%が対象）を導入するとともに、学校推薦型選抜（一般推薦入学試験）に適性検査型を導入した。令和8年度入学者選抜に向けて、高校訪問やオープンキャンパス等において周知を図っている。（7）	履行中 教育内容の充実を図るため、令和9年度以降の教職課程の拡充（免許種の追加）に向けた検討に着手した。（7）

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	日本福祉大学の既設学科等(教育・心理学部子ども発達学科)の収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) 収容定員未充足の改善に向けた対応として、教育課程の特長を明確にするため、令和7年度より学科名称を「こども学科」に変更した。また、同年度入学者選抜より、全学部を対象とした学費減免制度(一般入学試験【前期日程】A方式(3教科型)の合格者の内、成績上位者25%が対象)を導入するとともに、学校推薦型選抜(一般推薦入学試験)に適性検査型を導入した。令和8年度入学者選抜に向けて、高校訪問やオープンキャンパス等において周知を図っている。(7)	履行中 学科名称変更後も収容定員未充足状況が改善されないため、令和9年度以降の定員変更(定員減)に向けた検討に着手した。(7)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	日本福祉大学の既設学科等(国際学部国際学科)の収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) 収容定員未充足の改善に向けた対応として、多様な学生(留学生)の受入れ促進を図るために日本国内外の学校との連携強化を推進し、令和7年度収容定員充足率が0.78倍(前年度比0.11ポイント改善)となった。また、同年度入学者選抜より、全学部を対象とした学費減免制度(一般入学試験【前期日程】A方式(3教科型)の合格者の内、成績上位者25%が対象)を導入するとともに、学校推薦型選抜(一般推薦入学試験)に適性検査型を導入した。令和8年度入学者選抜に向けて、高校訪問やオープンキャンパス等において周知を図っている。(7)	履行中 多様な学生(留学生)の受入れ促進の更なる強化等を通じて、引き続き、収容定員未充足の改善に取り組む。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)(7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育・心理学部 学校教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・教育・心理学部FD委員会 ※規程(「日本福祉大学全学教育センター規程」)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

- ・教育・心理学部FD委員会については、令和6年度において、概ね月1回(8月及び2月を除く)開催予定である。(令和6年度 4回開催)

c 委員会の審議事項等

- ・教育・心理学部FD委員会では、令和6年度において、学生による授業評価アンケートの結果の分析と教育実践への活用に加え、実習教育、学部改革、障害学生に対する合理的配慮の提供などの時宜にかなったテーマでの研修会の企画などについて審議している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケートの実施(評価分析、結果公開、改善策の検討など)
- ・学部改革、障害学生に対する合理的配慮の提供などをテーマとする研修会の開催
- ・実習教育(教育、保育及び心理等)をテーマとする研修会の開催

b 実施方法

- ・教育・心理学部FD委員会が中心となって、学部としてのFD活動について、企画・運営している。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・第1回:3学科体制に向けた新カリキュラムの整備と3学科の連携についての検討(参加者:14人/17人 82%)
- ・第2回:2023年度後期・通年および2024年度前期授業評価アンケートの検討(参加者:14人/17人 82%)
- ・第3回:合理的配慮の方法や諸課題の検討と実践(参加者:14人/17人 82%)
- ・第4回:3学科ごとの各学科構想の進捗と課題part1(参加者:13人/17人 76%)
- ・第5回:3学科ごとの各学科構想の進捗と課題part2(参加者:13人/17人 76%)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・令和8年度に実施結果を踏まえた授業改善への取組状況についての評価を行う予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・令和7年度前期末及び後期末(年度末)に学生に対する授業評価アンケートの実施を計画している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・科目担当者(教員)に対しては、学内システムを利用してアンケート結果に対するコメント入力を依頼する。
- ・科目担当者以外の教員と履修者(学生)に対しては、学内システムにてアンケート結果を公開する。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当無し

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育・心理学部学校教育学科は、子どもの生活や現代的・社会的な課題を捉える視点を重視しながら、教科指導や生活指導にかかわる思想、制度、内容・方法を理論的実践的に学び、子ども・青年たちの発達を指導・支援・援助できる小・中学校（社会）の教員の養成を行うことを目的としている。とりわけ、学校教育において子どもの障害、貧困、虐待等の福祉的な課題への対応が求められる中、児童生徒の生きづらさに寄り添い、家庭支援や地域連携にも取り組むことのできる福祉的な知識やスキルを備えた教員の育成を重視するとともに、障害や特別な教育的ニーズのある子どもたちの抱える困難を理解し、その教育・支援の在り方だけでなく、社会的環境に内在する課題についても把握し、特別支援教育に関する高度な専門性を身につけるための学びを深めることを特長とした教育課程としている。

令和7年度の学生募集活動では、オープンキャンパスや進学相談会、高校訪問等において本学科の特長を積極的に広報したが入学者53名（入学定員充足率0.55）となっている。入学定員充足に向けて、学生募集活動（オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問等）の一層の取り組み強化が課題である。

本学科の教員は、4月以降一連のFD活動において、上記の学科の設置目的や3ポリシーについての理解を深め、教育・研究活動及び学部運営に取り組んでいる。今後は学年の進行に合わせて、設置計画に基づく教育課程の運営を着実にを行うとともに、一層の教育効果の向上を目指して教育方法等の工夫に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年6月30日 公表予定

b 公表方法

- ・本学ウェブサイトに掲載。（<https://www.n-fukushi.ac.jp/about/outline/self-assessment/>）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年度に公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価（第3期）を受審済
- ・令和13年度に公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価（第4期）を受審予定

(注) 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。